

横田の管制官 初の飛行場内フライトライン・オペレーションを実施 *Yokota air traffic controllers conduct infield flightline operations for the first time*

September 16, 2021

By Airman 1st Class Tyrone Thomas
374th Airlift Wing Public Affairs

(写真1)横田基地で9月15日、パイロットや管制塔との交信、風速を観測するための地上機器を準備する第374運用支援中隊の空兵。

航空管制官は、携帯無線機や機器を使用して管制指示を出したり航空機を適切に誘導する。



1

(写真2)携帯無線機を持ち、C-130Jスーパーハーキュリーズのパイロットと交信する第374運用支援中隊上級監視管理官ガブリエル・シガオト技能軍曹。

航空管制官、飛行場管理官、パイロット間のコミュニケーションは、任務のあいだ常に図られ、作戦の成功を確実にする。



2

(写真3)C-130Jスーパーハーキュリーズの着陸を地上から誘導する第374運用支援中隊の空兵。

運用のあいだ、フライトライン上の管制官は航空機と車両全体をコントロールし、有事の際に展開する「迅速な戦闘展開(ACE)」と「多能な空兵」のコンセプトを発揮した。



3